

平成31年度予算額

一般会計 302億円

特別会計 172億2,100万円

合計 474億2,100万円

将来を見据え、地域活力の低下を打開する大胆な予算を編成

一般会計は、これまでの施策の継続とまちの魅力を高める投資事業を計上し、前年度比8.8%、24億3,000万円増の302億円となっています。また、特別会計では、国民健康保険事業については減額となったものの、高齢化の影響から、後期高齢者医療事業・介護保険事業特別会計においては、引き続き増額となっています。特別会計総額では、前年度比1.0%、1億7,600万円減の172億2,100万円となりました。

市では、平成32年度を目標年次とする「後期基本計画」に基づき「笑顔があふれ やすらぎのあるまち うしく」を将来像とし様々な施策を展開しています。平成29年度には「将来に希望の持てるまち」を実現するために、下記の5つの柱を掲げ、それぞれに新たな取り組みに着手しました。平成31年度においては、これらの取り組みをさらに一歩進め、具体的な成果へとつなげていきます。

5つの柱4

観光資源を活用した活性化への取り組み

●文化財を保護継承して活用する

512万2千円 担当/教育委員会

市のさらなる活性化を図るため、引き続き山梨県甲州市等と連携し、牛久シャトーの「日本遺産」認定に取り組めます。牛久市の歴史的魅力や特色を、日本国内だけでなく、海外への戦略的な発信につなげます。



牛久シャトー

●住井す系記念館を公開活用する

1,509万3千円 担当/教育委員会

平成29年度に寄贈を受けた旧住井す系邸について、関連資料等を公開する展示室等を備えた記念館を整備するため、平成31年度には実施設計を行います。龍ヶ崎市道の駅整備計画を絡めた牛久沼周辺の環境整備を視野に入れ、市の魅力度の向上と、市民の郷土理解力の向上につなげていきます。



旧住井す系邸内 抱樸舎

5つの柱5

再び転入超過の波を呼び込むまちの整備

●エスカード牛久ビルの利活用を図る

2億126万8千円 担当/建設部

牛久駅前の空洞化対策や中心市街地の賑わいづくり、駅周辺のまちづくりを推進するうえで、エスカード牛久ビルは中核となる施設です。平成31年度はイズミヤが所有していたエスカード牛久ビルの不動産購入費と、エスカード牛久ビル基本構想・基本計画の策定を予定しています。



エスカード牛久ビル

●都市計画を適正に管理する

3,013万5千円 担当/建設部

北部地区における宅地需要に応えるため、市街化区域に隣接する市街化調整区域での宅地開発の手法を検討しています。平成31年度は、該当地区における調査や基本計画の策定、地区計画素案の策定などを予定しています。



●ひたち野うしく中学校を建設する

26億9,144万9千円 担当/教育委員会

ひたち野地区の生徒数増加に伴う下根中学校の過大規模校化を防ぎ、生徒一人ひとりにより良い学習環境を提供するため、平成32年4月開校を目指し、ひたち野うしく中学校建設を進めます。



完成予想図

●ひたち野うしく中学校の開校準備をする

2億3,925万4千円 担当/教育委員会

ひたち野うしく中学校の開校に合わせ、必要な備品・教材等の準備を整えます。



当初予算案

問 財政課 ☎ 内線1221

将来に希望の持てるまちを実現するための新たな取り組み

5つの柱1

生涯活躍のまちを支える取り組み

●うしく健康プラン21を推進する

107万5千円 担当/保健福祉部

市民の生活習慣改善プログラムとして実施していた健康チャレンジに、平成30年度よりポイント制を導入しています。「運動」「食育」「地域のつながり」「忘れないでね健診」の4つの視点から、楽しみながら続けられる健康づくりの取り組みを通して、健康寿命の延伸を目指します。



●【介護特会】地域介護予防活動を支援する

112万9千円 担当/保健福祉部

地域で介護予防活動が実施できるボランティアを養成し、住民自らが地域の状況に合わせた介護予防活動を実施できるよう支援します(うしくかっぱつ体操普及員養成講座・フォローアップ講座、シルバーハビリ体操養成講座等)。



5つの柱2

安心した出産と、子育ての負担を軽減するための取り組み

●大人の風しん抗体検査と予防接種を実施する

676万9千円 担当/保健福祉部

予防接種法の改正により、風しんの感染拡大防止のため、抗体保有率の低い世代の男性(1962年4月2日～1979年4月1日までに生まれた男性)を対象として、抗体検査を実施し、陰性の方に風しんの予防接種を行います。



●支援を要する親子へ相談を行う

68万4千円 担当/保健福祉部

育児不安を抱え、子育てに悩む保護者を対象に、より効果的な対応の仕方について相談や教室を開催し、虐待予防・子どもの成長発達を支援します。平成31年度より、ペアレントトレーニング(※子どもに対して効果的なほめ方や指示の仕方を練習していく教室)を導入します。

●妊婦・乳幼児とその保護者に対して教室・相談を実施する

21万6千円 担当/保健福祉部

妊婦や乳幼児のいる保護者が、妊娠出産育児に関して必要な知識、技術を得ることができるよう教室・相談を実施します。平成31年度より、歯科相談(歯ッピー教室)の対象者を1歳児から2歳児に拡大します。



5つの柱3

地域経済の活性化・経済循環の取り組み

●牛久市商工会の運営を助成する 1,924万3千円 担当/環境経済部

地域経済の活性化を図るため、牛久市商工会の運営に対し助成を行います。平成31年度は、引き続き各部会事業や商工会だより発行のほか、「うしくまちゼミ」や「マイタ

ウンうしく就職フェア」などに対して助成します。また、青年部の取り組みである「ピザとワインの街うしく推進事業」のピザフェスタ開催に対して助成を行います。



一般会計の状況

※円グラフ中()内は前年度比。

平成31年度 一般会計歳入予算

歳入予算の内訳をみると、市税が、固定資産税、市民税の増額などを見込み、対前年度比2%、約2億1000万円の増額となりました。

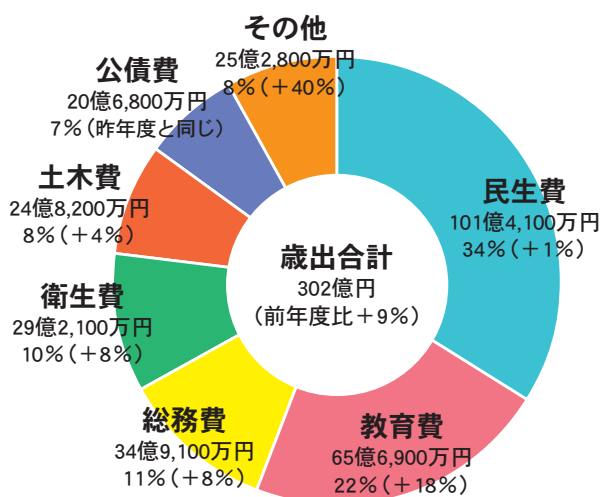
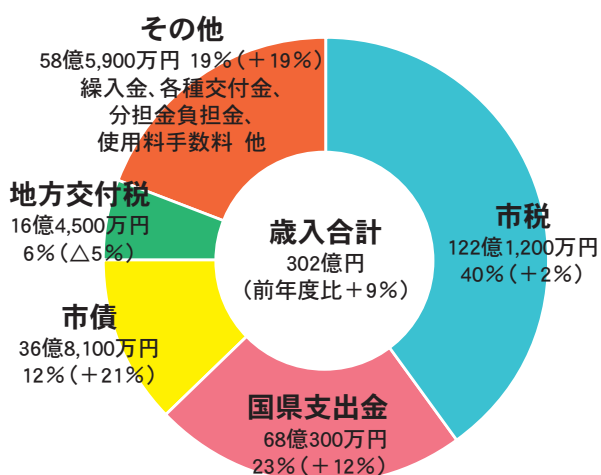
国県支出金は、ひたち野うしく中学校、クリーンセンター等の大型投資事業の増額に伴い対前年度比12%、約7億4200万円の増額、市債についても大型投資事業の財源として、対前年度比21%、約6億3000万円の増額となりました。

その他、消費税率の引き上げを控え、地方消費税交付金の増収が見込まれるほか、繰入金、財政調整基金、企業誘致事業等推進基金、国民体育大会運営基金等の取崩しを行ったことから、増額となりました。

平成31年度 一般会計目的別歳出予算

目的別歳出予算の内訳を見ると、歳出経費の3分の1を占める民生費は、民間保育園運営負担金、障害者介護給付費等の増額により対前年度比1%、1億2200万円の増額となりました。教育費は、ひたち野うしく中学校の建設および開校準備、牛久運動公園体育館改修等の増額により対前年度比18%、約10億600万円の増額となりました。

総務費では、ひたち野リフレ空調設備改修工事の増額、およびプレミアム付商品券事業の実施に伴い、対前年度比8%、2億7200万円の増額となりました。



平成31年度 新規または特徴的な事業

総務

- ひたち野リフレの空調改修
- プレミアム付商品券の販売【新規】
- わくわく茨城生活実現事業【新規】
- 行政区集会所建設等への補助
- 未利用地の売却
- 重点地域への防犯カメラ設置

民生

- 地区社協活動の支援、拠点確保
- 成年後見制度利用促進中核機関の設置【新規】
- 民間保育園の運営支援
- 保育士処遇改善の対象拡大
- 民間保育園の建設支援

衛生

- ペアレントトレーニングの導入【新規】
- 歯科相談(歯っぴー教室)の対象拡大
- 風しん抗体検査と予防接種の実施【新規】
- 集団検診のWeb申し込み【新規】
- 清掃工場延命化工事(5カ年最終年度)

農林水産・商工・消防

- 強い農業づくり交付金【新規】
- 市内企業の投資への奨励金
- 商工会によるピザフェスタ開催助成

土木

- 既設道路の長寿命化
- 通学路等整備
- 公園遊具の長寿命化
- 空家対策の実施
- 北部地区市街化調整区域の宅地開発検討
- 牛久駅西口ベデストリアンデッキ屋根設置基本設計
- エスカード牛久ビル購入
- エスカード牛久ビルの利活用検討
- 南裏市営住宅5号棟改修工事
- 木造市営住宅再構築基本設計

教育

- おくのキャンパス義務教育化検討【新規】
- 通学用ヘルメットの購入配布【新規】

●奥野小学校校舎屋根改修工事【新規】

- ひたち野うしく中学校建設・開校準備
- 日本遺産認定への取り組み
- 住井すゑ記念館整備実施設計
- 訪問型家庭教育支援の実施【新規】
- 三日月橋生涯学習センタートイレ洋式化【新規】
- 中央生涯学習センター文化ホール改修実施設計【新規】
- 運動公園体育館の空調改修工事【新規】
- 国民体育大会の開催

特別会計

- (下水道事業)公共下水道整備
- (介護保険事業)認知症サポーター養成
- (国民健康保険事業)集団検診Web申し込み【新規】
- (後期高齢者医療事業)集団検診Web申し込み【新規】